

自治推進委員会 第7回 事業見直しに関する企画委員会議事録

日時 平成23年 6月17日(金) 18:30～20:15
場所 登別市市民活動センター 2階 市民活動室C
出席者(役員) 関 修 大 山 口 光 男 平 田 和 弘 * 平 田 誠 治 関 川 昭 雄 参加者: 6名
* 高 橋 忍 三 * 吉 野 良 子 * 鎌 田 和 子 * 佐 々 木 幸 彦 瀧 川 正 義 (*:欠席者) (敬称略)
* 木 村 義 恭 * 田 中 寛 治 川 田 弘 教 (全 市 観 光 リーダー) 議事録作成 瀧 川

審議・確認事項

1. 検討資料の説明 瀧川

(1) 検討準備資料

ブレインストーミング:BS法とKJ法 …… 6頁

今後の検討内容の課題と対応策における整理方法の技術レベルをそろえるため、
本技法の内容説明を行なうため。

(2) 検討内容の説明

本技法について初めての方がいたので、まず、勉強会から行なった。

会議に先立ち、先日15日の総会で話題になった「自治推進委員会の本来の役割・方向性」
について議論した。

議論方法は、いわゆる「BS方式」で、問題点・課題・対応策・意見・状況等何でも思いついた
内容を話し合う形式で、ここまではいつもの意見交換である。

しかし、本方式はここで出された内容を「1意味=1文章」に簡潔にまとめ、カード化することで
次の「まとめ方の手法:KJ法」につなげ易くすることにある。

今回はテーマが異なるので、内容は割愛するが、検討方法の意味はそれとなく解ってくれた
ように感じた。

2. 審議内容

(1) 前回までの検討内容をざっと復習し、4件の中から、4番目の「職員の意識改革」から手掛ける ことを確認した。

なお、テーマ名を「職員の意識改革」と言い切ることで、市側が進めている取組(事業)について
これをチェック或いは対抗する取組を行うかのような誤解を生ずる懸念がある。テーマ名の再考
を含む誤解を招かない方策検討も視野に入れながら、有効な情報交換実現のもとにテーマ取組
の作業を進めることとする。

(2) 個別の論議では、各自の経験と思いから、議論は活発になるが、言いばなしが多く、また、時 間的な制約から、なかなか内容が収束して行かないきらいがある。

今回は、第6回の資料を参考に、BSのたたき台を自分でメモしてやることにしたい。

3. 次回の検討内容

(1) 「事業4:職員の意識改革」をテーマに、BSメモを各自準備すること。

1) 自治体のスリム化に向けた行政改革の推進

2) 登別市行財政改革実施プランのテーマ

職員の意識改革 (ア)人事評価制度の確立

(イ)職員提案制度の見直し

人材の育成と活用

(ウ)職員の自己啓発への補助制度の見直し

次回 企画委員会開催予定

平成23年7月15日(金) 18:30～20:30

以上